

シリーズ 自治基本条例とは？

(第3回) 情報共有

情報共有が進むほど町民参加が進み、まちを活性化させ、町民主体のまちづくりにつながります

情報共有とは？

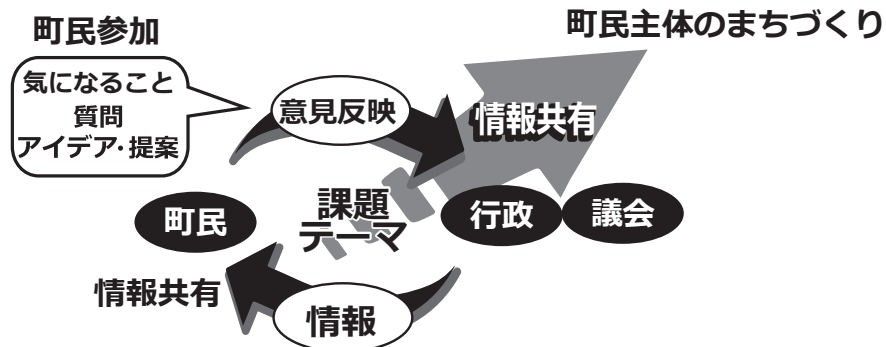
自治における情報共有とは、町民と議会と行政が互いに課題に思うことを伝え合うことです。

- ・課題とは、いろいろな問題があるなかで解決したいこと。
- ・行政や議会は、何を解決したいのか課題と政策を町民に説明し伝えます。
- ・町民は、行政と議会に自分たちで解決できない課題を意見・要望・提案として伝えます。

自治条例が目指すもの

下図は地方自治が目指すまちづくりのよい循環サイクルのカタチを表しています。

- ・まちづくりの課題は、行政や議会の考えが町民に伝われば伝わるほど、町民の意見や提案も出やすく、また反映しやすくなります。下図のように情報共有は、町民と行政・議会のあいだをぐるぐると回っています。
- ・このサイクルで、町民が意見やアイデアを述べ町政に反映することを町民参加と呼んでいます。
- ・情報共有と町民参加は、切り離せない関係にあり、まちを活性化させ、町民主体のまちづくりにつながります。



情報共有と町民参加が進めばどうなるか？

例えば役場が、新しい施設の建設を考えたとき。役場が町民に計画の情報を伝えれば、こうしたら使いやすい、利用が増えるよ、などのアイデアが出るでしょう。

アイデアが採用されれば、また次の計画のときも町民の参加が期待できるでしょう。

自治基本条例は、こうした情報共有や町民参加が進みやすいよう、町民・議会・行政の関係と協力の仕組みをつくりあげるものです。

情報共有と町民参加を求めるのはどのようなとき？

実際に他の自治体の事例では、次のような事項を実施するときは、情報共有と町民参加を求めるとしています。

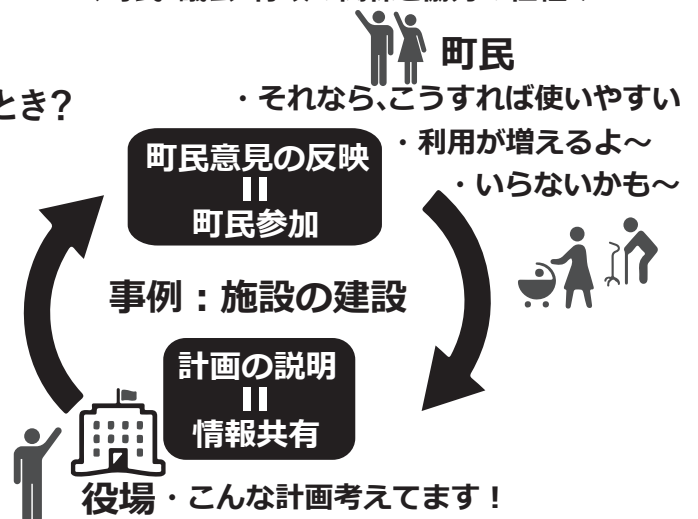
- ・将来の計画を決めたり、変えるとき(総合計画)
- ・大きな建物をつくったり、壊すとき
- ・町のみんが使うものの利用方法を決めるとき
- ・町民の暮らしに大きく影響することを決めるとき

6月の専門部会で「情報共有」の検討開始!

6月の勉強会テーマは「情報共有」、20名が次の①～

⑦の項目で意見だしを行い、7月と8月の会議で仮の条文にまとめます。

①情報の共有 ②情報の提供 ③説明責任 ④情報公開 ⑤個人情報保護 ⑥町民の意見等 ⑦会議の公開



問い合わせ先：美瑛町まちづくり推進課 ☎92-4330 ✉ machi@town.biei.hokkaido.jp

この取り組みに対する町民の皆さまのご意見ご質問をお寄せください。 <http://town.biei.hokkaido.jp/administration/committee.html>

自治基本条例(仮称)策定専門部会の議事内容は、町ホームページに公開しています。町ホームページトップ画面 で検索